



2014年2月12日 第824号



発行 関西学院大学新聞 総部 ☎662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155 関西学院大学新学生会館3F 電話：(0798) 51-1181 E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp

今春、新たな学生組織始動へ

～関西学院大学 学生連盟が発足～

4月1日より新しい学生組織「学生連盟」が発足する。学生連盟とは、本学の総部及び学部自治会から構成される自治組織である。

総部と学部自治会とは

総部とは、建学の精神を尊重し、それぞれの活動を通じて本学の発展に貢献することを目的とした学生団体であり、現時点で本学に公認されている団体である。総部には、応援団総部、宗教総部、新聞総部、総部放送局、体育会文化総部がある。また、学部自治会とは、各学部に所属する本学生の学術研究及び学生生活の発展、向上を目的とし、各学部在籍する学生で構成され、各学部教授会で認定された自治組織である。学部自治会には、神学部学生会、法学部学生自治会がある。

理念

関西学院大学学生連盟は、大学と一致協力し、学生の活動を通じて、スクールモットーである“Mastery for Service”（奉仕のための練達）を思いやりや高潔さ、自らの大きな志を持って体现することを理念とする。

目的

本連盟は正課外活動並びに全関西学院大学生のための活動を通じて、大学生生活の向上及び関西学院大学の発展に貢献することを目的とする。

学生連盟 理念と目的

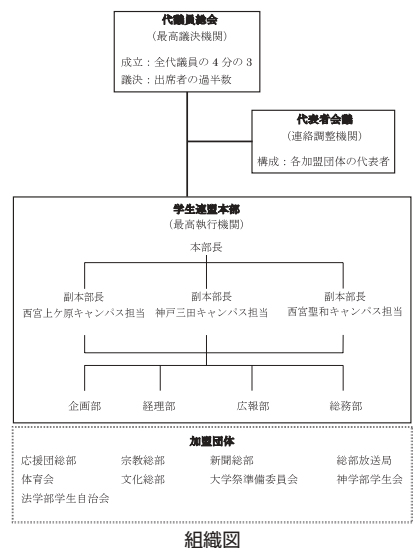
員会(以下、**財管**)が設立された。財管の管理運営のもと、配分された学生会費を受け、残存する総部及び学部自治会は活

学生連盟の設立経緯

学生連盟には上記に加え、大学祭準備委員会が加盟する予定である。

始まりは1912年にさかのぼる。本学生が自分たちの意志と責任において自由に活動し、学風の振興を図る組織として学生会が発足した。学風の振興とは、学校をより良くしようという考え方であり、学生会には入学と同時に本学生全員が所属し、本部には最高執行機関の全学執行委員会(以下、**全執**)が設置された。しかし、1960年代後半からの大学紛争により、全執が1969年に不在となり、学生会は機能を停止し、5つの学部自治会も同様に機能停止となった。そこで、1977年に全執再建までの過渡的組織として財務管理委員会(以下、**財管**)が設立された。財管の管理運営のもと、配分された学生会費を受け、残存する総部及び学部自治会は活

関西学院大学学生連盟組織図



学生連盟 設立準備委員会とは?

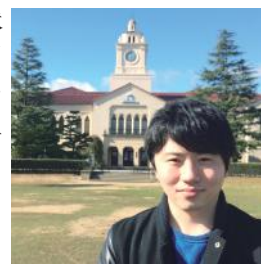
学生連盟設立準備委員会は12月1日に発足し、4月1日の学生連盟発足に向けた準備を行っている。学生連盟設立準備委員会委員長は小山聖人さん(文・3)に話を聞いた。

動を続けてきた。また、財管では、全執再建に向けたPR活動を行ってきた。

小山さん(以下、**小**)…週に一度、学生連盟に加わる9団体の代表者で集まって会議をしています。内容としては、主に大きく分けて二つのことに取り組んでいます。まず一つ目は、4月1日に行われる第一回代議員総会の準備です。この日に学生連盟が正式に発足します。学生連盟の規約に明記された代議員総会の開催の手順に則り、スケジュール調整などの準備を進めています。二つ目は、学生連盟本部の内部作りです。みんなで具体的にマニュアルを作成し、学生連盟本部がどういった役割を果たしていくかについて、意見を出し合いながら詰めています。

新・学生連盟の発足に向けて着々と準備が進んでいるようです。では、なぜ小山さんは学生連盟設立準備委員会の委員長になろうと思ったのですか。

小…学生連盟は、関学生の中でも特に部活動をしている人たちが所属する組織です。部活動では、それぞれの活動に誇りを持った関学生が日々活動しています。様々な所で活躍している関学生の想いに貢



委員長の小山聖人さん(文・3)

●2,3面 KGニュース「連載」追跡!! S.G.U. 4,5面 プロフェッショナルインタビュー特集

●6面 教授の背中 お店探し隊
●7面 K.G. studio
●8面 神戸新聞シンポジウム

小…これまでの学生会では、本部組織が機能を停止し、組織全体も十分に機能していません。とは言えないものでした。学生連盟が発足することにより、本部が設置され、関学生の意見を容易に集約し、反映させることができると期待されます。さらに、学生連盟の加盟団体が、共通理念のもと



学生連盟の発足に向け、準備が進む

新・期待が膨らみますね。では、最後に関学生にメッセージをお願いします。

小…関学は素晴らしいスクールモットー“Mastery for Service”を掲げる学校です。その意味を一人でも多くの関学生に気づいてもらいたいのです。これらのことを学生連盟の活動を通して示していけるように頑張ります。新…ありがとうございます!

毎年、成人の日の時期になると、微笑ましい成人式の光景のニュースを目にする。しかし、それ以上に目立つのは、新成人たちが会場で叫んだ、暴れて怪我人を出したというようなニュースである。意外にも成人式自体の歴史は浅い。初めての成人式は戦後間もない1946年に埼玉県蕨市(現蕨市)で行われた。戦後の厳しい世の中で未来を担う若者を激励するため蕨市が「成年式」を開催したことが始まりである。これをきっかけに全国で成人式が行われるようになった。また、愛媛県などのいくつかの地方では成人式のほかに「少年式」があることをご存知だろうか。少年式の由来は元服からきているとされ、14歳を迎えた少年少女を祝う式典である。今日の日本では、14歳以上で罪を犯すと少年院に入ることになる。14歳となり、これからは自分のやったこと自分から責任をとるという自覚と責任を持つための式となっているのだ。しかし、14歳で大人への一歩を歩みだす決意をし、20歳で大人として生きていくはずが、現在の成人式を見るとどうだろうか。式が終わると式で騒ぎ立て子どもとしての最後の務めを果たそうと考える人もいるようだが、その考えが間違っていることは、成人式の歴史を振り返れば一目瞭然だろう。成人の日が国民の祝日にまで制定された今、式の歴史を知り、大人としての自覚を持った行動をとるべきだ。



食分野もグローバルに ハラルフード取扱開始

本学に通うイスラム教徒の留学生へ向け、上ヶ原キャンパスの購買部フォーラム店でハラルフードの取り扱いが始まった。

ハラルフードとは、イスラム教の法律で食べられることを許された食べ物のことだ。イスラム教の法律では、特に豚肉と肉に含まれる血とアルコールが禁止されており、

アルコールにおいては飲料だけでなく工場などで消毒に使うアルコールまでもが禁止されている。

今回、生協の購買部で取り扱われるのは、チーズ味とサワークリーム&オニオン味のポテトチップス、カレー味と鶏塩風味のスパイシーインスタントヌードル、ドライストロベリー入りのオーツ麦ビス

ケットとレモン味とチーズ味のクッキーの7種類だ。

東京大や早稲田大、慶應大、関西では同志社大、立命館大など他大学では、食堂でもハラルフードを提供するところが増えているという。世界から人材を集めるために、これらは必須だろう。本学でもイスラム教徒の友人と席を隣に食事をする日が楽しみだ。

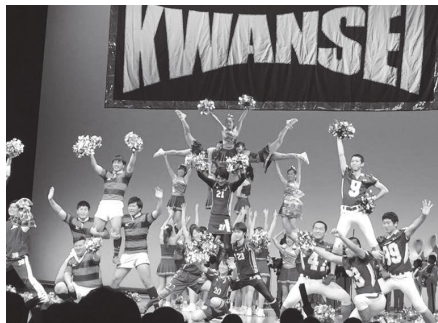
外から遮断されているこの島には、嘘しか言わない画家、殺人を許された男、人語を操り未来が見えるカカシといった妙な人間ばかりが住んでいる。伊藤が島に着いた次の日カカシが殺されてしまう。未来を見通せるはずのカカシはなぜ自分の死を阻止できなかったのか。伊藤は島の人々との交流を通してその謎を紐解いていく。

公演終了後、二人をはじめとする3回生は引退となった。今後の劇団を担う1、2回生に向けて山平さんは「自分たちは余裕なく3年間を過ごした。余裕がないとただの作業になり、最低限のことしかできなくなってしまう。余裕をもって楽しくやってほしい」、齋藤さんは「人間関係を大事に仲良く取り組んでほしい。それぞれが自信をもつことも忘れずに」と言葉を贈った。

公演後の劇団員の皆さん



本公演で引退を迎えた4回生



体育会によるゲストステージ

は「いつもと違う衣装やダンスで、彼女たちの新たな魅力が光っていた」と振り返った。

今年度のドルフィンスのスローガンは「With You」。この日も、来場した大勢の「You」に元氣と感動を届けた。

伊坂幸太郎さん原作の推理小説である。物語はコンビニ強盗に失敗し逃走していた伊藤が、気付くと見知らぬ島にいたところから始まる。江戸以

「オーディュボンの祈り」は山平晋也さん(経・3)とトビウオ健太郎こと齋藤健太郎さん(文・3)である。公演を終えて齋藤さんは「今回で引退ということもあり、今まで培ったこと全てをこめて一所懸命にやってきました。稽古期間が短く、苦勞したこと多かったが、駆け抜けたことができたという達成感が強い」と話した。山平さんは「今まで一番しんどさを感じたが、どんなことがあっても逃げないという決意があった。多分同じことをまたしようと思ってもできないと思う」と本公演にかけた想いを語った。

山平さんは主に原作を舞台用として脚本に落とし込む作業を行った。「オーディュボンの祈り」を選んだ理由は、好きな小説だったからだそうだが、それが山平さんの「しんどさ」を生む。脚本に落とし込む際に、原作の分量の8分の1にまで圧縮しなくてはならず、「もともと舞台向きの作品ではないため、小説なら伝わるものが劇でも伝わるかどうか」と不安に感じていたという。

昨年12月26日、兵庫県立芸術文化センターにて、応援団総部チアリーダー部による「The 29th KG Winter Festa」が開催された。普段は体育会の選手にスタンドから笑顔と声援を送るドルフィンズが主役となり、一年間の集大成を披露する公演だ。

第1部では本公演のテーマである「The Little Mermaid」のアリエルをイメージしたきらびやかな衣装で、ヒッ

回生から花束が渡されるなど、会場は涙に包まれ、4回生の名前を呼ぶ声やねぎらいの言葉が飛び交った。

公演直後のロビーにて、副団長の岡本紗也子さん(文・4)は「とにかくやりきった」と観客一人ひとりを見送りながら満足そうに語った。また、第3部で応援歌「新月旗の下」の演奏を披露した応援団総部指導部副団長の中西峻之さん(教・4)

昨年12月11日から13日の3日間、本学上ヶ原キャンパス旧学生会館2階ママ上ホールにて「オーディュボンの祈り」が劇研究部劇団狸寝人により公演された。3回生引退公演でもあった本公演にはたくさんの人々が詰めかけた。

公演終了後、二人をはじめとする3回生は引退となった。今後の劇団を担う1、2回生に向けて山平さんは「自分たちは余裕なく3年間を過ごした。余裕がないとただの作業になり、最低限のことしかできなくなってしまう。余裕をもって楽しくやってほしい」、齋藤さんは「人間関係を大事に仲良く取り組んでほしい。それぞれが自信をもつことも忘れずに」と言葉を贈った。

彼らが引退しても、劇研究部劇団狸寝人としての活動は終わらない。次年度はじめにはすでに新入生歓迎公演が予定されている。新たなスタートを切る劇団狸寝人に注目だ。

あなたに届け！ 私たちの笑顔

The 29th KG Winter Festa

3時間の超大作

3回生引退公演「オーディュボンの祈り」

関西学院大学新聞総部

部員募集!!

新聞に興味がある人、自分の考えを伝えたい人、とにかく何かしたい人、誰でも歓迎します。

連絡先 総部長 青木萌夏(国・2)
kgpress2009@yahoo.co.jp

Twitter 始めました。
続々、更新中!!

関西学院大学新聞総部 @kg_shinbun

検索

論説 日進月歩 『時代にあった民法改正を —2つの憲法訴訟をめぐる—』

2015年12月16日、二つの憲法訴訟に対し、最高裁判決が下された。女性の再婚禁止期間と夫婦同姓についてだ。いずれも民法の規定が、憲法で定める男女平等の原則に反するとして争われた。現行の民法は戦後、1898年に公布された明治民法を全面的に改正して作られた。明治民法には、武士社会の家族理念をもとにした家制度が定められていた。この制度は、原則として戸主には男性しか認めず、その戸主に強力な家の統率権限を与えるものだった。

その後、1946年に「法の下の平等」「個人の尊厳」と両性の本質的平等などを定めた日本国憲法が施行された。これに伴い、家制度を廃止するなど明治民法は大幅に改正された。しかし、男女で異なる婚姻年齢や非嫡出子の

割の夫婦が夫の姓を選択していることから浮き彫りになる女性の自己喪失感の問題や、女性の昇進にかかわる仕事上の不都合などは見過ごせない。「女性の社会進出」を真に目指した国作りを行うならば、選択的夫婦別姓制度を一刻も早く取り入れるべきではないだろうか。

今回の合憲判決が示した通り夫婦同姓の規定は憲法違反という問題ではないかもしれないが、国民の誰か一人でも不利益を被るような法律は改正すべきだと思う。夫婦同姓を不便に思う女性がたとえ少数であっても、少数者にとって「選択肢がある」という意味は非常に大きい。もちろん、夫婦別姓を認めれば子供の姓をどうするのかという深刻な問題や同姓夫婦と別姓夫婦の混在など困難な場面が多々あるだろう。それらとの折り合いをつけながら、少数者の権利を守るための法整備を行う必要がある。

今回の判決で裁判所は選択的夫婦別姓制度について「合理性がないと断ずるものではない」とした上で、国会で議論されるべきだとし、ボールを国会に投げ返した。裁判所の限界があらわになった以上、国会での活発な議論が求められる。しかし近年は「早く結婚しろ」「産めないのか」といった議員によるセクハラや問題が後を絶たない。「女性は子どもを産むべきだ」「家族はこうあるべきだ」という時代遅れともいえる固定観念が蔓延している国会で、個人の尊重に基づく女性差別

相続差別、女性のみに課される再婚禁止期間や夫婦同姓の原則などの規定はそのまま残存することになった。近年では、2013年に非嫡出子の相続差別に違憲判決が下されたことは記憶に新しい。そして今回は二つの憲法訴訟に対し、女性の再婚禁止期間については違憲判決が、夫婦同姓については合憲判決が下された。まず、女性だけに存在する再婚禁止期間については妥当な判決だったといえる。しかし、6カ月あった再婚禁止期間を100日に短縮するという改正は、十分とはいえず、期間そのものを無くすべきだという意見もある。明治民法制定時と比べ、医学の発展が目覚ましい現在ではDNA鑑定で親子関係はすぐに調べられるからだ。

しかし、子供にとって父親が誰であるかを明確にすることは非常に重要である。諸外国では離婚時点で妊娠をしていないという医師の証明があれば、禁止期間を免除するという方法をとっている国もある。子供を第一に考えるならば、参考にすべき規定だ。再婚禁止期間を設けている先進国が他にないという事実も含め、更に議論を進めていく必要があると考える。

一方、合憲判決が下された夫婦同姓規定についても賛否両論がある。家族に関する民法の改正内容については価値観の対立が大きく、「家族の絆が壊れる」「日本の伝統を壊す」といった反対の声は根強い。特に自民党は民法改正に消極的である。しかし、9

追跡!! SGU 第7回

~大切なのは使命感~
久木田 純 SGU招聘客員教授 インタビュー①

本学のスーパーグローバル大学事業についてシリーズでお伝えしている「追跡!! SGU」。今回は、以前紹介した大学院の新コース「国連・外交コース」に携わることになる久木田純先生へのインタビューの模様を2回にわたってお伝えする。久木田先生は、30年間国連職員として世界各地で勤務され、定年退職後本学のSGU事業施策のひ

とつである「国連・国際機関へのゲートウェイ構想」の推進に携わることとなった。2017年度開設予定の大学院「国連・外交コース」の授業を担当するほか、「関学国際機関人事センター」の中心として、学生のサポートも行う。

「危機感から世界へ」
新聞総務部記者（以下、記者）：まずは御略歴を教えてくださいませうか。
久木田純先生（以下、久木田）：私は、福岡県の高松出身で、西南学院大学に進学しました。その後、九州大学の大学院で教育心理学を学び、修士博士課程で学びました。大学院在学中には8ヶ月のシンガポール留学も経験し、そこでは民族関係論といった社会科学系の勉強をしました。そして、博士課程の修了直前に外務省のJPOと呼ばれる国連に職員を派遣するための試験に受かり、国連の世界に飛び込みました。私は子どもの能力を最大限発揮できるような世界を作りたいと思っていたのでUNICEFに勤務先を決め、その後東京の駐日事務所やナミビア、ニューヨーク本部などで様々な課題の解決に当たっていました。そして、2007年からは東ティモール、カザフスタンの両国で代表を務め、昨年国連を定年退職しました。その後、日本でグローバル人材の育成をしたと考えていたところ関学に声をかけていただきました。記者：なぜ、国連でお仕事を

されようと思ったのですか？
久木田：私は1955年生まれで、100歳まで生きようと思ったのですが、2055年に世界はどうなっているのだろうかという危機感も持っていました。当時は核戦争の危機や公害問題、飢餓や難民問題と様々な問題が世界で起こる一方で、素晴らしい文化風習が世界中にあり、多様性と危機感が共存していました。その中で「日本を出て海外で仕事をしよう」という思いが湧き出てきました。これが18歳の時でした。その後私は100歳までの人生設計を立て、その中で様々なキャリアを考えました。商社マン、ジャーナリスト、研究者、外交官などです。どれも世界を股にかける仕事でしたが、私にはしっくりこないと感じました。そんな時に図書館で国連職員について紹介した本を読んだ。「これだ!!」と思いました。それが20歳のときでした。国連職員になるには10年近い長期的な能力構築が必要でした。でも、国連では自分がやりたいと思った仕事が出来たのでやりがいがありました。死と隣り合わせになったことも何度かありました。記者：死と隣り合わせですか？

久木田：そうですね、あまり感じなかったですね。確かにここで死ぬのはもったいない、生きていたいとは思いましたが不思議と怖いとは感じませんでした。
記者：東ティモールでの「奇跡」
記者：国連時代、記憶に残っている出来事はありますか？
久木田：東ティモールに赴任直後、ノーベル平和賞を受賞したラモスホルタ大統領に「若者が喧嘩をするから止めさせてほしい」と頼まれました。東ティモールでは独立以前、兵士から身を守るために若者たちが武道を習得していました。ところが独立後も若者たちは武道の技で争いを続けていて、そのために平和構築が難しい、何とかできないかということだったのでした。記者：なるほど。久木田さんはその依頼を受けて、どのようなことを考えたのですか？
久木田：私はいろいろ考えた末に、ジャッキー・チェンに來てもらおうと考え、依頼しました。けれど、最初は映画の撮影などで忙しく難しいと言われました。それから数ヵ月後、大統領が狙撃され瀕死の重症を負った際に改めてお願いしたところ、快く引き受けてくれたのです。ちょうど北京五輪（2008年）の開催時期で開会直前の1週間、彼のスケジュールが空いていたのです。東ティモールに來

た彼は、スタジアムに全ての武道の流派を集めました。その数およそ5000人です。警備のために軍や警察がスタジアムを取り囲んでいました。記者：具体的にどのようなことを行なったのですか？
久木田：彼はスタジアムに着くと武道の型（空手やカンフー）という構えの「流」を流派の垣根を越えて皆と一緒にやりました。その後、「武道を暴力や争いのために使わないでほしい。武道の技は人を育て、相手を尊敬し、その力を使って仲良くするために使ってほしい」と語り掛け、帰国の途につきました。するとその日から若者の争いが見られなくなりました。軍や警察が止められなかった喧嘩が、彼の一言でびたっと収まったのです。それ以来、東ティモールはとても平和になりました。

記者：それはすごいですね。久木田：国連職員はその国の未来を左右するリーダーや隣間に会える事がありません。ネルソン・マンデラやアウンサン・スーチーとも会いましたよ。独立直後のナミビアのある村に行つて任務に当たった際にその村の村長から感謝の印として大きなヤギをもたらしたこともありました。こうした一つ一つの出会い、心のかもった感謝の場面が印象に残っています。
○ ○ ○
今回は、4月から本格的に募集を開始する大学院「国連・外交コース」についてのお話、求められる学生の姿やコース内容についてお伝えします。



取材に答える久木田純先生

～イルミネーション&プロジェクトマッピング～

関西学院大学 時計台プロジェクトマッピング マッピング



昨年12月18日から20日までの3日間、関西学院大学時計台プロジェクトマッピング2015「映像と音楽で彩るクリスマス時計台」が、西宮上ヶ原キャンパス中央芝生・時計台で行われた。1万人以上の来場を記録し大盛況となった。

時計台プロジェクトマッピングは、本学の125周年を記念して一昨年に初めて行われたもので、今回が2回目の開催である。

前回に引き続き、映像と音楽でクリスマスの降誕を祝い、本学ならではの歴史ある時計台に光を灯すというコンセプトの下に行われた。今回は関西学院聖歌隊も音楽で参加し、より幻想的なものとなった。

また、技術的な面では、来

場者のスマートフォンでの操作と連動しプロジェクトマッピングが表示されるという「インタラクティブプロジェクトマッピング」のパートで膨大なアクセスに耐えうるよう、高度なシステムを開発し導入した。

このように、芸術的な面と技術的な面の両面で、前回よりもパワーアップしたプロジェクトマッピングとなった。

このプロジェクトマッピングの開発は本学の学生有志によるもので、教育・研究の一環として行われている。本学は、学生が主体性を持ち学ぶ、アクティブラーニングを推進しており、この手法としてPBL (Project Based Learning) というものがある。これは、目的を持った



スマートフォンとの連動を楽しむ会場

プロジェクトを遂行することを通して学んでいくというのだ。時計台プロジェクトマッピングは、まさにこのPBLに当てはまる。3月には学会での研究発表も予定されており、学生の活躍ぶりが光る。

さらに、19日には高校生を対象に「プロジェクトマッピング アイデア創出ワークショップ」あなたが創る関西学院大学のプロジェクトマッピング」が開催され、高大連携事業の一環ともなっている。

プロジェクトマッピングのプログラムの中で、観客は終始感嘆の声を上げていたが、特に驚きの声が上がった。

また、スターウォーズとのコラボレーションにはちょっとした秘密があった。時計台プロジェクトマッピングの初回上映開始日時、12月18日午後6時30分は、スターウォーズ「フォースの覚醒」の日本初上映時間と同じである。必然か、はたまた偶然かは開発チームのみが知っていることだろう。

来年の開催はまだ決まっていないとのことだが、来場者の多さや、プロジェクトマッピング



たのはデイズニー、スターウォーズとのコラボレーションパートだ。エンターテインメントの確固たる地位を築くデイズニーだが、エンターテインメントに懸けるが故、ロゴやキャラクターの使用が難しいことでも有名だ。今回は特別にデイズニーのロゴの使用が認められ、これはデイズニーも認めるクオリティのエンターテインメントだということの意味する。

また、スターウォーズとのコラボレーションにはちょっとした秘密があった。時計台プロジェクトマッピングの初回上映開始日時、12月18日午後6時30分は、スターウォーズ「フォースの覚醒」の日本初上映時間と同じである。必然か、はたまた偶然かは開発チームのみが知っていることだろう。

来年の開催はまだ決まっていないとのことだが、来場者の多さや、プロジェクトマッピング

マッピングを扱った本学公式Facebookの記事への反応の多さなどを見ると、今回の開催も期待される。プロジェクトマッピングの様子は本学のYouTubeチャンネルでも公開されている。ぜひ、幻想的な雰囲気と迫力を感じてみて欲しい。

最後に、このプロジェクトを成功に導いた学生たち全員に盛大な拍手を送りたいと思う。

【前号の訂正とお詫び】
前号の特集記事「新月祭2015」内における「一年に一度の晴れ舞台 応援団総部祭」新月旗の下に「」において左記の誤りがありました。

(誤) 応援団総部指導
(正) 応援団総部指導部
ここに訂正し、お詫び申し上げます。

冬の風物詩の一つであるイルミネーション。最近ではプロジェクトマッピングも盛んに行われるようになり、心から温まるような冬の楽しみがさらに増えた。本学が誇る時計台プロジェクトマッピングを中心に、毎年大盛り上がるの企画から、こんなところにも? という穴場絶景スポットまでを広く紹介する。「来冬の参考に!」、「まだまだ冬を楽しむぞ!」という人々に送る。

夜空に輝く光



光のトンネル「華回廊」

場所は三重県桑名市。昼は四季折々の花を愛でることのできる植物園が、夜になると、きらびやかなイルミネーションへと変わる。「光のトンネル」、「光の大洞」、「光の雲海」などエリアによってテーマが異なる



花びらにかたどられたLED

ため、様々な種類のイルミネーションを堪能できる。写真で紹介しているのは、光のトンネルである「花回廊」。イルミネーションの中でも特に人気のスポットだ。全長200メートルからなるアーチ型トンネルに沿って輝く光は、1つ1つが可愛らしい花びらを模っている。植物園ならではの幻想的な世界観は老若男女に愛され、特にカップルに人気のスポットとなっている。

なばなの里

昨年11月13日から今年1月6日まで、冬の期間限定イベントである「ユニバーサル・ワンダー・クリスマス



ユニバーサルスタジオリゾートジャパン「世界一の光のツリー」

」が開催された。今年のテーマは「奇跡」。ツリーの前行われたショー「天使のくれた奇跡Ⅲ〜The Voice of an

Angel」は、親子の深い愛情が奇跡をもたらすというストーリーだ。今年は空中演出も取り入れ、より豪華なショーとなった。ショーの最後で「人々の深い愛」を象徴する光のツリーの尖塔に集まると、「世界一の光のツリー」が点灯した。電飾の最多数で4年連続ギネス世界記録に認定されたこのツリーは、高さ36メートル、散りばめられた電飾の数は約37万個にのぼる。ツリーを囲むように飾られた赤とゴールドのリボン

イルミネーションデータ
「点灯時間」
2015年10月24日〜
2016年5月5日
「点灯時間」日没〜閉園

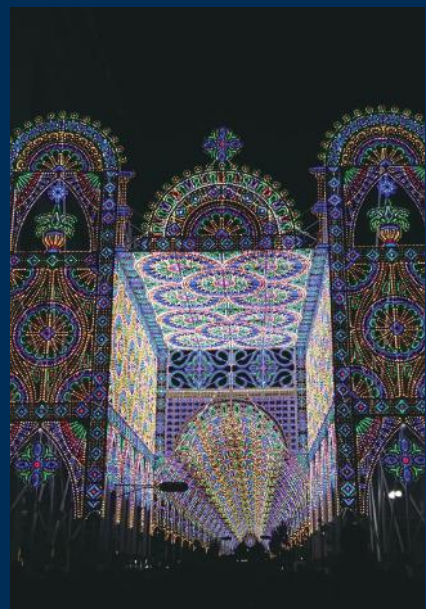
今年注目目は、「アルプスの少女ハイジ」のイルミネーションだ。なばなの里史上初のアニメとのコラボレーションである。プロジェクトマッピングではなく、すべてLEDライトを使用しているため、壮大な絶景を演出できる。アニメの世界観をモチーフに、アルプス山脈や花畑、キャラクターたちが臨場感あふれるイルミネーションで表現されている。



大切な人との「絆」をイメージしている。世界最大級の旅行口コミサイトでは「死ぬまでに見たい世界のクリスマスツリー」10選に日本で唯一選ばれた。このツリーを一目見ようと世界中から多くの人々が集まる。1年に1度のクリスマスへの思い出に足を運んでみてはいかがだろうか。

神戸ルミナリエは、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂の意を込めるとともに、都市の復興・再生への夢と希望を託したものである。震災のあった1995年に初めて開

神戸ルミナリエ



催され、2015年の開催で21回目となった。今回は、325万人が訪れ、光の美しさに魅了された。ルミナリエはヨーロッパのバロック時代に造られた、祭

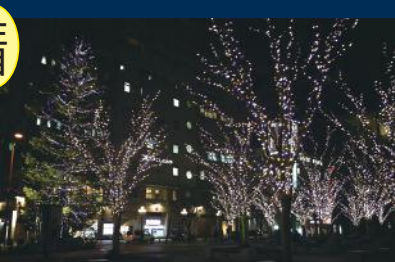


様々な色に変化するクリスマスツリー

2015年のテーマは「NEL CUORE KOBE」心の中の神戸だ。また、今回は「初めて」尽くしの開催で、日本初公開となる作品の展示や、全ての作品をLEDのみで作上げる試みがなされた。神戸ルミナリエへの入場は無料だが、1人100円の募金呼びかけられている。ルミナリエを訪れた際は、犠牲者への鎮魂と神戸の復興を祈念し、是非募金に協力してほしい。

西宮北口駅から徒歩2分のところにある兵庫県立芸術文化センターと隣接する「高松公園」。毎年クリスマスの時期になると公園の木々がライトアップされ、イルミネーションを楽しむことができる特別な空間へと変わる。イルミネーション全体で使用されたライトの数は例年よりも多い約3万個。色も温かみのあるものにパワーアップしている。昨年11月に西北活性化協議会主催のイルミネーション点灯式が開催された。会場には

注目 姫路城プロジェクトマッピング「HAKUKA」新たな羽ばたき 約5年半の大作の改修を終え、新しくなった姫路城が昨年5月に3Dプロジェクトマッピングが行われた。テーマは姫路城の伝統と歴史、輝く未来。姫路市内の小学生約700名に姫路城の塗り絵をしてもらい、その中から何枚かの絵を選び、バラバラ漫画のように投影するというものだった。大天守だけでなく、城郭の一部や石垣もスクリーンに見立てた。来場者数は3日間でおおよそ19万人。姫路城でしか味わうことのできない迫力満点のイベントとなった。



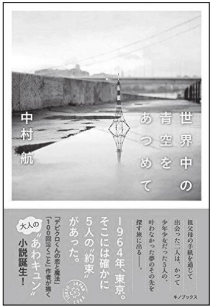
特設ステージが設けられ、音楽イベントも行われた。光と音を同時に楽しめる空間に会場の人々は心癒されたことだろう。

「NISHIKI-KITA ドイツのクリスマス」



「世界中の青空をあつめて」

中村 航



夢を諦めて、東京から愛媛の実家に帰っている和樹。2020年のオリンピックの開催地が東京に決まると、和樹は祖父から封筒を渡される。中には、「コーチへ。わ

目のオリンピックを迎える。オリンピックに隠される、果たされなかった約束とは……。そしてその約束の背景にある祖父たちの過去とは……。全てを失った登場人物たちの過去やそこから立ち直っていく様子が、心情を交えて鮮明に描かれている。

「どんな過去だって、新しい物語の始まりになるから。バーを越えられなくたってね、その先には行けるんだ」テストが終わり、今年度ももう少しで終わりを迎える。4月から新たな場所へ踏み出したり、学年が変わったりと環境が変わる人も多いだろう。まだ見ぬ未来に対する不安を持つ人も少なくはないはずだ。そんな時この本はきっと自分の過去を見つめ、未来へ進む手助けをしてくれるだろう。

おすすめのお店探し隊!
vol.4. 「ARROW TREE CAFE & FRESH FRUIT」



第4回目のおすすめのお店探し隊では「ARROW TREE CAFE & FRESH FRUIT」を紹介する。JR西宮駅から西へ徒歩3分のところにある果物卸問屋直営のカフェだ。店内の装飾は全て手作りで、

白を基調としたおしゃれで落ち着いた空間となっている。店先には、毎朝目利きのプロにより厳選して仕入れられた果物が並べられ3年ほど前から野菜も取り扱うようになった。新鮮な果物や野菜を使用した料理をすぐに食べられるのがこのカフェの特徴である。



お得なランチセット

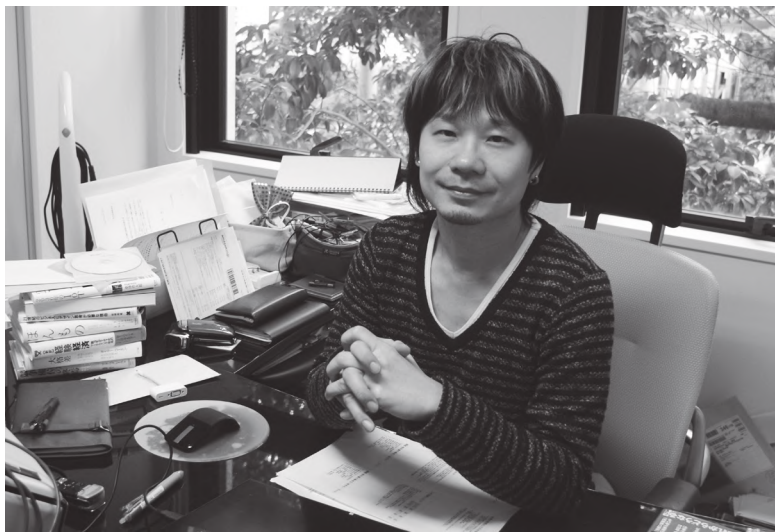
14時から18時にかけて提供しているのが、「ケーキセット」。店頭には並べられたケーキの中から好きなものを選び、そのケーキの価格プラス100円でコーヒーがついてくる。写真で紹介しているケーキは、あまおう苺をふんだんに使用した「あまおうタルト」(990円)。甘みと酸味が調和した深い味わいが女性や子どもにも大人気だ。不定期だが、「あまおう苺フェア」(972円)が提供される。ドリンクはコーヒー、紅茶など豊富な種類の中から選ぶことができるが、やはり1番人気は野菜や果物がたっぷり使用されたフレッシュジュース。

栄養が摂れる点や果物本来の甘さを味わうことができる点で妊婦や子どもにも大人気だ。食材にこだわり、厨房で1つ1つ丁寧に作られる「ARROW TREE」の料理を一度堪能してみたいかがだろうか。

教授の背中

鈴木謙介

社会学部 准教授



社会学部、鈴木謙介先生のこれまでの研究テーマは多岐に渡っている。そしてそれらは共通して現在、私たちの目の前で起こる出来事と結びついている。「20代のときに当時の若者を論じる本を執筆し、折から社会に浸透しつつあった『インターネット』と若者の関係や大学院時代からは政治・グローバルの研究も行っている」と話す先生。現在は「食」をテーマに研究をしている。「食は文化や私たちの生活に根ざして、数学だけでは表されるものではない。グローバル化によって世界中で特に環境分野などで研究対象になっているが、社会学でテーマとして扱われることは少ない」と語る先生は、これまで自分が研究してきた「情報分野」や「グローバル」といった要素を含んでいると話す。

日々、研究活動や講義を通して学問と「今」をつなぐ活動をしている先生だが日頃大切にしていることがある。それは「役に立つこと」である。「これは何が役に立つかを判断する基準を変えることを含めたものだ」と先生は話す。そして、企業が10年後にも同じ形態をしているかどうかはわから

変化する社会の中で「役に立つこと」を伝え続ける

ないと指摘した上で「社会が変化してもあわてなくともすむように知識を与えることが教員である自分の使命だ」と先生は語る。

先生は講義のほか「MANABIL (マナブル)」という社会学部内の勉強会の支援も行っている。これは大学院生が企画し、不定期で社会学部の共同学習室で行われる勉強会である。ここでの活動などを通して先生は「社会学部での学びが役に立つと思う人は少ないが企業も『大学で何を学んだか』を重視する時代にこのような機会があるのに使わないのはもったいない」と話し、より多くの学生に興味を持って欲しいと話した。

最後に先生は「世界は様々な人たちが回っている」と話した。これはどういう意味なのだろうか？ 関学は以前よりも「チャラさ」が薄れまじめな学生が増えたが、まじめな学生とチャライ学生の間でコミュニケーションが少なくなったという。勉強会や飲み会など、自分たちとは違う世界の人たちと触れる機会をもつべきかもしれない」と先生は話した上で、様々な場面に飛び出て、様々な人と関わりを持つことの大切さを説いた。

すずき けんすけ

- 1999年 國學院大学文学部 卒業
- 2001年 法政大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程修了
- 2004年 国際大学GLOCOM研究員・助手
- 2010年 関西学院大学文学部総合心理科学科准教授

☆基本情報☆

- ・住所：兵庫県西宮市池田町4-25
- ・アクセス：JR西宮駅南口から徒歩3分
- ・営業時間：11:00-23:00
- ・定休日：不定期
- ・TEL：0798-23-0300
- ・FACE BOOK：ARROW TREE
- ・HP：arrow-tree.com



あまおうタルト



K.G. studio

今回のK.G.studioはタイムスリップとK.G.peopleです。タイムスリップでは本下真次さんに、K.G.peopleではミスキャンパスグランプリに輝いた原野琴美さんに話を聞きました。

タイムスリップ 第13回 本下 真次さん (00年卒)

今回取材したのは関西学院大学経営戦略研究科の博士課程に在籍している本下真次さんである。



本下 真次 (ほんげ・しんじ)

1996年関西学院大学文学部入学。2000年に大伸社入社。2005年関西学院大学大学院経営戦略研究科に入学。2007年に修士課程を修了し、現在は大伸社グループの会社に勤務しながら2012年から同大学院博士課程に在学している。

イメージが付き纏いますが、私は太宰からエネルギーを感じ、「今度は私がこのような影響を与えたい」と作家を志すようになりました。関学には、その太宰も含まれる近現代文学を専門に研究している先生がいるということで、いくつかの選択肢の中から縁あって入学しました。

学部生時代は、作家を目指しつつ自分の知的好奇心に従い、哲学や社会学といった文学とは少し離れた分野の授業も積極的に履修し様々なことを学びました。サークル活動やアルバイトにも精を出していました。バイクサークルに所属してレースに出場したり、レストランの接客アルバイトを経験したりしました。

今でもアルバイト時代の仲間とは草野球をするなど付き合いが続いています。そうした学部生時代でしたが、すぐに職業作家になることは現実的ではないと考えるので、就職活動をしました。書くことを仕事にしようとして新聞社や出版社などマスコミ関係を中心に活動し、大伸社にコピーライターとして入社しました。企画制作部に配属され広告やカタログ制作や印刷手配の業務を経験しました。そして、入社3年目の時に転機が訪れました。企画制作部のマネージャーの職を任せられ

私は関西学院大学文学部を卒業後、企画、デザイン、印刷を展開する大伸社に就職しました。現在も大伸社のグループ会社に営業として勤務しながら、関西学院大学大学院経営戦略研究科の博士課程に在籍しつつ、同研究科修士課程の講師も務めています。高校時代に小説が好きだったので文学部を目指すようになりました。特に太宰治が書く文章に魅了されていて、最後期を迎えたこともあり暗いイ

今回は、ミスキャンパス関西学院2015グランプリの原野琴美さん(文・1)を紹介する。彼女がミスキャンパスに出会ったのは、入学当初、食堂の前に貼ってあったミスキャンパスのポスターを目にしたことがきっかけだったという。応募することを友達に勧められるも、初め、自分には絶対無理だと思っていたそう

た。そこで、過去のミスキャンパスのファイナリスト、グランプリの先輩方のことや、ミスキャンパスの活動、イベントについてSNSで調べた。華々しい世界を改めて目にして、挑戦してみたいという思いが強くなったという。しかし、当時はファイナリストに選出されるという自信もな

く、周りの友達には隠したまま、オーディションを受けた。ファイナリストに選出された時は、ここで十分だと思っていたそう。しかし、初めて挑戦したメイクや、不器用で初めは上手くいかなかったウォーキングレッスンなどの経験を積んでいくうちに、グランプリを獲りたい、という思いは次第に強くなっていったという。また、学校の授業、時間のかかる通学に加え、レッスンや撮影が立て込み、多忙を極めていた彼女の支えとなったのが周りの応援の声。今まで自分のことばかりで周りが全く見えていなかったと

が求められます。会社員として働き、研究科で学び、さらに講師もするという三足のわらじを履くことは大変ですが、理論と実践の両面から課題を捉え解決していくことができる立場であり、その遂行が使命だとも感じています。関学生に伝えたいことは、学んだことは必ず役に立つということ。でもそれはきつとすぐにはない。自身、文学部出身でそこから経営学を学び、教えることになりましたが、文学の素養は今こそ役に立っていると実感します。すぐに役立たないからこそ探求する意義があります。学生時代に夢中になるものを探すのはもちろん良いことですが、興味の無いものにも取り組んでみると自分の興味があることも違って見えてきます。寄り道をしてみてはどうでしょうか。

「もうこの授業も半分が終わったみたいなので、レポート、いや、レポートっていうのかな、まあどっちでもいいや。あはは。レポートの話をお願いしますね。定期レポート。はい、一応前のスクリーンでも説明しています。わつ、スマホのカメラちょっとした記者会見みたい。あはは。成績については、まあコメントカードの平常点もあるっちゃあ、あるんですけど、あれは救済措置なので、ほとんどレポートによって決まると思ってください。レポートは、授業で学んだことの中から自分なりにテーマを選んで、書いてもらいます。内容はほとんど自由です。分量は二〇〇字くらい。少ないですよ。え、多い？ うーん、最低でも一五〇〇字は書いてください。あはは。で、皆さんの気になる評価ですけど、出せばほとんど通しますから。安心してください、穿いてますよ、なんちゃって。まあ冗談はさておき、よほどのことがない限り、合格にします。ただコピーとか剽窃はやらないでください。それはさすがに不合格です。出典とか、引用先とかをきちんと明記していれば、まあ大丈夫なんですけど、それがなされていけないものは、やっぱり不合格にしちゃいます。気を付けてください。何か質問とかありますか。はい、挙手。ある？ ない？ まあ手をあげばいいと思うから、何かわからないことがあっても、あとで個別にでも聞きにきてください。はい。それでは今日の授業に入ります」

今回は、ミスキャンパス関西学院2015グランプリの原野琴美さん(文・1)を紹介する。彼女がミスキャンパスに出会ったのは、入学当初、食堂の前に貼ってあったミスキャンパスのポスターを目にしたことがきっかけだったという。応募することを友達に勧められるも、初め、自分には絶対無理だと思っていたそう

た。そこで、過去のミスキャンパスのファイナリスト、グランプリの先輩方のことや、ミスキャンパスの活動、イベントについてSNSで調べた。華々しい世界を改めて目にして、挑戦してみたいという思いが強くなったという。しかし、当時はファイナリストに選出されるという自信もな

く、周りの友達には隠したまま、オーディションを受けた。ファイナリストに選出された時は、ここで十分だと思っていたそう。しかし、初めて挑戦したメイクや、不器用で初めは上手くいかなかったウォーキングレッスンなどの経験を積んでいくうちに、グランプリを獲りたい、という思いは次第に強くなっていったという。また、学校の授業、時間のかかる通学に加え、レッスンや撮影が立て込み、多忙を極めていた彼女の支えとなったのが周りの応援の声。今まで自分のことばかりで周りが全く見えていなかったと

が求められます。会社員として働き、研究科で学び、さらに講師もするという三足のわらじを履くことは大変ですが、理論と実践の両面から課題を捉え解決していくことができる立場であり、その遂行が使命だとも感じています。関学生に伝えたいことは、学んだことは必ず役に立つということ。でもそれはきつとすぐにはない。自身、文学部出身でそこから経営学を学び、教えることになりましたが、文学の素養は今こそ役に立っていると実感します。すぐに役立たないからこそ探求する意義があります。学生時代に夢中になるものを探すのはもちろん良いことですが、興味の無いものにも取り組んでみると自分の興味があることも違って見えてきます。寄り道をしてみてはどうでしょうか。

「もうこの授業も半分が終わったみたいなので、レポート、いや、レポートっていうのかな、まあどっちでもいいや。あはは。レポートの話をお願いしますね。定期レポート。はい、一応前のスクリーンでも説明しています。わつ、スマホのカメラちょっとした記者会見みたい。あはは。成績については、まあコメントカードの平常点もあるっちゃあ、あるんですけど、あれは救済措置なので、ほとんどレポートによって決まると思ってください。レポートは、授業で学んだことの中から自分なりにテーマを選んで、書いてもらいます。内容はほとんど自由です。分量は二〇〇字くらい。少ないですよ。え、多い？ うーん、最低でも一五〇〇字は書いてください。あはは。で、皆さんの気になる評価ですけど、出せばほとんど通しますから。安心してください、穿いてますよ、なんちゃって。まあ冗談はさておき、よほどのことがない限り、合格にします。ただコピーとか剽窃はやらないでください。それはさすがに不合格です。出典とか、引用先とかをきちんと明記していれば、まあ大丈夫なんですけど、それがなされていけないものは、やっぱり不合格にしちゃいます。気を付けてください。何か質問とかありますか。はい、挙手。ある？ ない？ まあ手をあげばいいと思うから、何かわからないことがあっても、あとで個別にでも聞きにきてください。はい。それでは今日の授業に入ります」

K.G. PEOPLE

#15. ミスキャンパス2015 グランプリ

原野 琴美さん (文・1)

しかし、中学生の頃から演技レッスンにも通い、人前に出ることが好きだった彼女は、ミスキャンパスのこと



グランプリに輝いた原野さん

が求められます。会社員として働き、研究科で学び、さらに講師もするという三足のわらじを履くことは大変ですが、理論と実践の両面から課題を捉え解決していくことができる立場であり、その遂行が使命だとも感じています。関学生に伝えたいことは、学んだことは必ず役に立つということ。でもそれはきつとすぐにはない。自身、文学部出身でそこから経営学を学び、教えることになりましたが、文学の素養は今こそ役に立っていると実感します。すぐに役立たないからこそ探求する意義があります。学生時代に夢中になるものを探すのはもちろん良いことですが、興味の無いものにも取り組んでみると自分の興味があることも違って見えてきます。寄り道をしてみてはどうでしょうか。

が求められます。会社員として働き、研究科で学び、さらに講師もするという三足のわらじを履くことは大変ですが、理論と実践の両面から課題を捉え解決していくことができる立場であり、その遂行が使命だとも感じています。関学生に伝えたいことは、学んだことは必ず役に立つということ。でもそれはきつとすぐにはない。自身、文学部出身でそこから経営学を学び、教えることになりましたが、文学の素養は今こそ役に立っていると実感します。すぐに役立たないからこそ探求する意義があります。学生時代に夢中になるものを探すのはもちろん良いことですが、興味の無いものにも取り組んでみると自分の興味があることも違って見えてきます。寄り道をしてみてはどうでしょうか。

「もうこの授業も半分が終わったみたいなので、レポート、いや、レポートっていうのかな、まあどっちでもいいや。あはは。レポートの話をお願いしますね。定期レポート。はい、一応前のスクリーンでも説明しています。わつ、スマホのカメラちょっとした記者会見みたい。あはは。成績については、まあコメントカードの平常点もあるっちゃあ、あるんですけど、あれは救済措置なので、ほとんどレポートによって決まると思ってください。レポートは、授業で学んだことの中から自分なりにテーマを選んで、書いてもらいます。内容はほとんど自由です。分量は二〇〇字くらい。少ないですよ。え、多い？ うーん、最低でも一五〇〇字は書いてください。あはは。で、皆さんの気になる評価ですけど、出せばほとんど通しますから。安心してください、穿いてますよ、なんちゃって。まあ冗談はさておき、よほどのことがない限り、合格にします。ただコピーとか剽窃はやらないでください。それはさすがに不合格です。出典とか、引用先とかをきちんと明記していれば、まあ大丈夫なんですけど、それがなされていけないものは、やっぱり不合格にしちゃいます。気を付けてください。何か質問とかありますか。はい、挙手。ある？ ない？ まあ手をあげばいいと思うから、何かわからないことがあっても、あとで個別にでも聞きにきてください。はい。それでは今日の授業に入ります」

文芸部 読み切り小説

「大学教授・鳴海歌重」

馬場 広大



関西学院大学×神戸新聞社 連携協定締結で地域共生を目指す



昨年12月5日に本学は、神戸新聞社と包括的な連携協定を締結しました。これを記念し、同日、神戸クリスタルタワーで、本学直属の教授であり、NEWS ZEROs メーンキャスターも務める村尾信尚さんをコーディネーターに、本学の社会連携センター長であり国際学部の木本圭一教授、神戸新聞パートナーセンター長の太田貞夫さん、神戸フィルムオフィス代表の田中まこさんをパネリストに迎えた、パネルディスカッションが行われました。テーマは「知力と情報発信力をいかに地域共生」。本学の持つ知力と、神戸新聞社の持つ情報発信力をいかに、地域共生を図ろうというものです。今回、我々新聞総務部員も見学させていただきました。その様子を一部ご紹介させていただきます！

この理念創出の際に重要なものが『大学』と『メディア』です。『大学』が自身の持つ「知の資産」をいかに、そこで生まれたものを発信するのが『メディア』です。この2つの連携が『地域』の力と上手く噛み合えば、新たな『地域』の時代に繋がるのではないのでしょうか。

日本の『地域』の未来は海外にあります。ラグビーワールドカップで活躍した日本のチームに外国人が多いたように、行政も外国人を受け入れるべきです。そして、彼らと一緒に『地域』のために喜んで身を捧げるような、フランスにあるような共通理念を生み出せるかが重要です。

昨年11月、私はニュースキャスターとしてフランス・パリでの同時多発テロを取材しました。その際、国歌が自然に歌われていたり、仏大統領が「我々が守るものは祖国だ」と話す状況を見て、フランスには『地域』に暮らす人々の結束力となる理念や、強固なコミュニケーションがあることを改めて実感しました。

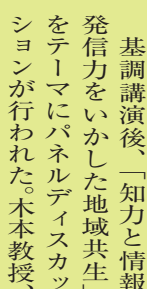
村尾さんの基調講演で始まるシンポジウム



基調講演後、「知力と情報発信力をいかに地域共生」をテーマにパネルディスカッションが行われた。木本教授、太田さん、田中さんに加え、コーディネーターとして再度村尾さんが登場した。村尾さんの「神戸の現状をどう捉えているか」という問題提起のもと、三人がそれぞれ抱く神戸の現状と課題、そして、神戸新聞社と本学の連携協定締結によって生まれる可能性について述べた。

木本教授、太田さんが共通して問題だと捉えている神戸の現状としては「18歳人口は増加しているにも関わらず、22歳人口は減少している」というもの。つまり大学生はたくさん呼び込んでいるが、そのまま定住する若者は少ないという事実だ。その原因として二人が挙げたのは、地元の人間が地元の魅力をあまり知らないということだ。木本教授は「シーズはあるのにアピール出来ない」とした上で、大学側の活動として、学生が地域に行くことで地域の魅力を発見、発信する可能性が広がるのではないかと話した。

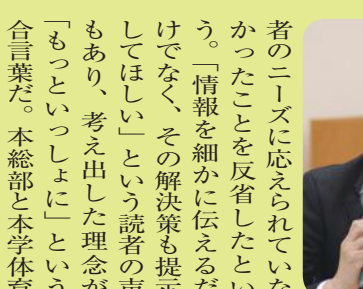
一方、太田さんは、これまで新聞社側が発信すべきと判断した情報のみを発信し、読者のニーズに答えられていなかったことを反省したという。「情報を細かに伝えるだけでなく、その解決策も提示してほしい」という読者の声もあり、考え出した理念が「もつといっしょに」という合言葉だ。本総務部と本学体育会編集部の代表部員が行っている、神戸新聞夕刊の「キャンパス」というコーナーへの執筆や、学生編集会議への参加といった活動の一つの例として、本学と連携した活動を行っていく中で、「もつといっしょに」という理念の具体的な中身を補いたいと考えているそう。



二人の意見に加え、田中さんは、ローカルとグローバル、両方の視点のバランスが大切だと述べる。外へ出て地元を見つめ直すことで、地元に対して新たな発見を得る。そうすると自然に、故郷を変えたという思いが生まれるのではないかと話した。

デイスカッションを踏まえ、村尾さんは「同じ地域でも違うフィールドで活動する者同士が化学反応を起こすことで、地域の魅力をもっと発信していくための一歩が踏み出せる」とまとめた。この連携協定を一つのきっかけとして、神戸という地域がより地元の人々に愛される、魅力溢れる街になることが期待される。

真剣に取材しています。



新総務部員たちの
勇姿を裏側!!



大人の世界、勉強になりました！



夜景の見えるレストランで交流会



一眼レフのカメラマン



真剣に取材しています。

関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・普通車(AT/MT)・
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



SANDA AUTOMOBIL SCHOOL
SAS
SINCE 1963

兵庫県公安委員会指定

三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995
E-mail:sanda-as@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード